

朝鮮變報

光緒十五年七月廿三日午後五時
朝鮮京城ある我公使館に同国集
多敷百人軍匪四隣より放ち矢石
を射し我館を襲撃せし我館の
守備隊は奮勇を以て之を拒み
一時は朝野政府の救援を待たず
況んや公使館の現員僅廿人防戦
し時間なく政府援兵を得て因て
我意を遂に一方の血路を開き玉城
を陥れしと云ふ城門鎖を容れし
不待止川府に至らんと黑暗の雨夜と
非辛らそと仁川府達せし地方官
亦て暴徒と地を公使其他謀撃す
屬官奮戦韓兵は切多け濟物浦
に舟次奪ひ南洋沖に漂泊せし
其日英艦に救を得て奇陽に達し

